

# 安全データシート

版番号 8.2  
改訂日 23.01.2022  
印刷日 27.01.2024

## 1. 化学物質等及び会社情報

### 1.1 製品識別名

製品名 : Wright's stain solution

カタログ番号 : 34-0050

ブランド : Katayama

### 1.2 他の特定手段

データなし

### 1.3 推奨用途及び使用上の制限

特定用途 : 研究開発での使用のみ。薬事、家庭用その他の用途には用いない。

### 1.4 安全データシート作成者の詳細

会社名 : Sigma-Aldrich Japan G.K.  
1-8-1 Arco Tower, Shimomeguro, Meguro-ku  
TOKYO 153-8927  
JAPAN  
東京都目黒区下目黒 1-8-1 アルコタワー  
担当部門 : ライフサイエンス  
レギュラトリーアフェアーズ

電話番号 : +81 (03) 6758-3625

FAX : +81 (03) 6756-8300

### 1.5 緊急連絡電話番号

緊急連絡先TEL : +81 (0)3 4520 9637 (CHEMTREC)

## 2. 危険有害性の要約

### 2.1 GHS分類

引火性液体 (区分2), H225

急性毒性, 経口 (区分3), H301

急性毒性, 吸入 (区分3), H331

急性毒性, 経皮 (区分3), H311

特定標的臓器毒性 (単回ばく露) (区分1), 眼, 中枢神経系, H370

このセクションで言及された H-ステートメントの全文は、セクション 16 を参照する。

## 2.2 注意書きも含むGHSラベル要素

絵表示



注意喚起語

危険

危険有害性情報

H225

引火性の高い液体及び蒸気。

H301 + H311 + H331

飲み込んだ場合や皮膚に接触した場合や吸入した場合は有毒。

H370

臓器 (眼, 中枢神経系) の障害。

注意書き

安全対策

P210

熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。

P233

容器を密閉しておくこと。

P240

容器を接地しアースをとること。

P241

防爆型の【電気機器 / 換気装置 / 照明機器 / 機器】を使用すること。

P242

火花を発生させない工具を使用すること。

P243

静電気放電に対する措置を講ずること。

P260

粉じん / 煙 / ガス / ミスト / 蒸気 / スプレーを吸入しないこと。

P264

取扱い後は皮膚をよく洗うこと。

P270

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

P271

屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。

P280

保護手袋 / 保護眼鏡 / 保護面を着用すること。

応急措置

P301 + P310

飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。

P303 + P361 + P353

皮膚 (又は髪) に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水【又はシャワー】で洗うこと。

P304 + P340 + P311

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。医師に連絡すること。

P308 + P311

ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。

保管

P403 + P233

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

P403 + P235

換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。

P405

施錠して保管すること。

廃棄

P501

内容物 / 容器を承認された処理施設に廃棄すること。

## 2.3 他の危険有害性 - なし

### 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

#### 危険有害成分

化学名	分類	含有量
<b>メタノール</b>		
CAS番号	67-56-1	Flam. Liq. 2; Acute Tox. 3;
EC番号	200-659-6	STOT SE 1; H225, H301,
化審法官報公示番号	2-201	H331, H311, H370
安衛法官報公示番号	-	濃度限界: >= 10 %: STOT SE 1, H370; 3 - < 10 %: STOT SE 2, H371;
		>= 90 - <= 100 %

このセクションで言及されたH-ステートメントの全文は、セクション 16 を参照する。

### 4. 応急措置

#### 4.1 必要な応急手当

##### 一般的アドバイス

応急措置担当者は自分が暴露しないよう、適切な防護を行う。この安全データシートを担当医に見せる。

##### 吸入した場合

吸入後は新鮮な空気を吸うこと。ただちに医師の診察を受けること。呼吸停止時はただちに人工呼吸を実施し、必要に応じて酸素も吸入する。

##### 皮膚に付着した場合

皮膚に接触した場合: すべての汚染された衣類を直ちに脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。直ちに医師を呼ぶ。

##### 眼に入った場合

眼に触れた後は多量の水ですすぐこと。眼科医の診察を受けること。コンタクトレンズをはずす。

##### 飲み込んだ場合

飲み込んだ後は新鮮な空気を吸うこと。エタノールを飲ませる(グラス1杯の40%アルコール飲料等)。ただちに医師の診察を受ける(メタノール摂取を告げる)。1時間以内に医療行為を受けられない例外的

な場合のみ、嘔吐を誘発させ(意識が完全に清明な場合のみ)、もう一度エタノールを飲ませる (40%アルコール飲料を体重kg/時につき約 0.3 ml)

#### 4.2 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

もっとも重要な既知の徴候と症状は、ラベル表示(項目2.2を参照)および/または項目11に記載されている

#### 4.3 緊急治療及び必要とされる特別処置の指示

データなし

---

### 5. 火災時の措置

#### 5.1 消火剤

##### 適切な消火剤

泡 二酸化炭素 (CO<sub>2</sub>) 粉末

##### 使ってはならない消火剤

本物質/混合物に対する消火剤の制限なし

#### 5.2 特有の危険有害性

炭素酸化物

可燃性。

逆火に注意する。

蒸気は空気より重く、床に沿って広がることもある。

火災時に有害な燃焼ガスや蒸気を生じるおそれあり。

周囲温度で空気と反応して爆発性混合物を生じる。

#### 5.3 消防士へのアドバイス

自給式呼吸器がある場合のみ危険区域に留まってもよい。安全なゾーンまで離れるか適切な保護衣を着用して、皮膚に触れないようにすること。

#### 5.4 詳細情報

容器を危険ゾーンから移動させて水で冷やすこと。消火水が、地上水または地下水のシステムを汚染しないようにする。

---

### 6. 漏出時の措置

#### 6.1 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

救急隊員以外への助言: 蒸気、エアゾールを吸入してはならない。触れないようにすること。十分な換気を確保する。熱や発火源から遠ざける。危険なエリアから避難し、緊急時手順に従い、専門家に相談のこと

個人保護については項目 8 を参照する。

## 6.2 環境に対する注意事項

物質が排水施設に流れ込まないようにする。爆発のおそれ。

## 6.3 封じ込め及び浄化の方法及び機材

排水溝に蓋をすること。こぼれたら集めて結合させ、ポンプですくい取る。物質の制限があれば順守のこと (セクション 7、10参照) 液体吸収剤(例. Chemizorb®)で処置すること。正しく廃棄すること。関係エリアを清掃のこと。

## 6.4 参照すべき他の項目

廃棄はセクション13を参照。

---

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 7.1 安全な取扱いのための予防措置

#### 安全取扱注意事項

換気フードの下で作業すること。吸い込まないこと。蒸気やエアロゾルが生じないようにすること。

#### 火災及び爆発の予防

炎、熱および発火源から遠ざける。静電気放電に対する予防措置を講ずること。

#### 衛生対策

汚した衣類はただちに替えること。予防的な皮膚保護を講じること。本物質を取り扱った後は手と顔を洗うこと。

注意事項は項目2.2を参照。

### 7.2 配合禁忌等を踏まえた保管条件

#### 保管条件

容器を密閉し、乾燥した換気の良い場所に保管する。熱や発火源から遠ざける。鍵をかけておくか、資格のあるまたは認可された人のみが入り出できる場所に入れておく。

#### 保管安定性

推奨された保管温度

15 - 25 °C

#### 保管クラス

保管クラス (ドイツ) (TRGS 510): 3: 可燃性液体

### 7.3 特定の最終用途

項目1.2に記載されている用途以外には、その他の特定の用途が定められていない

---

## 8. ばく露防止及び保護措置

## 8.1 管理濃度

### コンポーネント別作業環境測定パラメータ

化学名	CAS番号	Value	管理濃度	出典
メタノール	67-56-1	ACL	200 ppm	作業環境評価基準、健康障害防止指針
		OEL-M	200 ppm 260 mg/m <sup>3</sup>	日本産業衛生学会 許容濃度等の勧告 -I.化学物質の許容濃度
	備考	第2群：ヒトに対しておそらく生殖毒性を示すと判断される物質 経皮吸収		
メタノール	67-56-1	TWA	200 ppm	米国。ACGIH限界閾値 (TLV)
	備考	皮膚吸収の危険性		
		STEL	250 ppm	米国。ACGIH限界閾値 (TLV)
		皮膚吸収の危険性		

### 生物学的職業暴露限度

化学名	CAS番号	パラメータ	Value	生物サンプル	出典
メタノール	67-56-1	メタノール	20 mg/l	尿	許容濃度等の勧告 - II.生物学的許容値
	備考	作業終了時			

## 8.2 曝露防止

### 適切な技術的管理

汚した衣類はただちに替えること。予防的な皮膚保護を講じること。本物質を取り扱った後は手と顔を洗うこと。

### 保護具

#### 眼 / 顔面の保護

NIOSH ( US ) または EN 166 ( EU ) などの適切な政府機関の規格で試験され、認められた眼の保護具を使用する。保護眼鏡

#### 皮膚及び身体の保護具

本推奨は、当社発行の安全データシートに記載されている製品およびその指定の使用法のみ適用される。溶解、他の物質との混合、および EN374 に記載の逸脱条件での使用については、CE 認証手袋のサプライヤに問い合わせのこと (例. KCL GmbH, D-36124 Eichenzell, Internet: [www.kcl.de](http://www.kcl.de))

フルコンタクト

材質: ブチルゴム

最小厚: 0.7 mm

破過時間: > 480 min

試験物質：Butoject® (KCL 898)

本推奨は、当社発行の安全データシートに記載されている製品およびその指定の使用法のみ  
適用される。溶解、他の物質との混合、およびEN374に記載の逸脱条件での使用については、  
CE認証手袋のサプライヤに問い合わせのこと(例. KCL GmbH, D-36124 Eichenzell, Internet:  
www.kcl.de)

飛沫への接触

材質：バイトン®

最小厚: 0.70 mm

破過時間: > 120 min

試験物質：Vitoject? (KCL 890 / Aldrich Z677698, Size M)

要

#### 身体の保護

難燃静電気保護服。

#### 呼吸用保護具

気化ガス/エアロゾル発生時に必要

次の規格に準拠しているフィルター式呼吸器保護具を推奨します。DIN EN 143、DIN 14387お  
よび使用済み呼吸器保護システムに関連する他の付属規格。

#### 環境暴露の制御

物質が排水施設に流れ込まないようにする。爆発のおそれ。

---

## 9. 物理的及び化学的性質

### 9.1 基礎物理および化学特性の情報

- |                      |   |
|----------------------|---|
| a) 外観                | 形状: 液体<br>色: 暗紫色                                      |
| b) 臭い                | データなし   |
| c) 臭いのしきい(閾)値        | データなし   |
| d) pH                | データなし   |
| e) 融点 / 凝固点          | データなし   |
| f) 沸点, 初留点及び沸騰<br>範囲 | 65 °C   |
| g) 引火点               | 9.7 °C - 密閉式引火点試験 - 理事会規則 (EC) No. 440/2008, 付属書, A.9 |

h)	蒸発速度	データなし
i)	可燃性(固体、気体)	データなし
j)	引火上限/下限または爆発限界	データなし
k)	蒸気圧	データなし
l)	蒸気密度	データなし
m)	密度	データなし
	比重	データなし
n)	水溶性	データなし
o)	n-オクタノール / 水分配係数 (log 値)	データなし
p)	自然発火温度	データなし
q)	分解温度	データなし
r)	粘度	動粘度(動粘性率): データなし 粘度(粘性率): データなし
s)	爆発特性	爆発性として分類されていない
t)	酸化特性	なし
u)	粒子特性	
u)	粒子特性	
u)	粒子特性	

## 9.2 その他の安全情報

データなし

---

## 10. 安定性及び反応性

### 10.1 反応性

蒸気は空気と爆発性混合物を形成することがある。

### 10.2 化学的安定性

標準的な大気条件(室温)で化学的に安定。

### 10.3 危険有害反応可能性

データなし

## 10.4 避けるべき条件

警告

## 10.5 混触危険物質

強酸化剤

## 10.6 危険有害な分解生成物

火災の場合:項目5を参照

---

## 11. 有害性情報

### 11.1 毒性情報

混合物

急性毒性

経口: データなし

吸入: データなし

経皮: データなし

皮膚腐食性/刺激性

データなし

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

データなし

呼吸器感作性又は皮膚感作性

データなし

生殖細胞変異原性

データなし

発がん性

データなし

生殖毒性

データなし

特定標的臓器毒性 (単回ばく露)

混合すると器官に傷害を生じる。 - 眼, 中枢神経系

特定標的臓器毒性 (反復ばく露)

データなし

誤えん有害性

データなし

### 11.2 追加情報

化学的、物理的および毒性学的性質の研究は不十分と考えられる。  
その他の危険な特徴を除外してはならない。

十分な衛生的作業を行い安全規定に従って取扱う。

## 成分

### メタノール

#### 急性毒性

急性毒性推定値：経口 - 100.1 mg/kg

(専門家の判断)

備考：(EU) 1272/2008規則, Annex VI (Table 3.1/3.2)に基づく分類

症状：吐き気, 嘔吐

急性毒性推定値：吸入 - 4 h - 3.1 mg/l - 蒸気

(専門家の判断)

備考：(EU) 1272/2008規則, Annex VI (Table 3.1/3.2)に基づく分類

症状：気道の刺激症状

急性毒性推定値：経皮 - 300.1 mg/kg

(専門家の判断)

備考：(EU) 1272/2008規則, Annex VI (Table 3.1/3.2)に基づく分類

#### 皮膚腐食性／刺激性

皮膚 - ウサギ

結果：皮膚刺激なし

備考：(ECHA)

乾燥作用により荒れて、あかぎれを生じる。

#### 眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

眼 - ウサギ

結果：眼への刺激なし

備考：(ECHA)

#### 呼吸器感作性又は皮膚感作性

感作試験： - モルモット

結果：陰性

(OECD 試験ガイドライン 406)

#### 生殖細胞変異原性

既存データによると分類基準に適合せず。

試験タイプ：Ames 試験

テストシステム：Salmonella typhimurium

結果：陰性

試験タイプ：in vitro哺乳動物細胞遺伝子変異試験

テストシステム：チャイニーズハムスター肺細胞

結果：陰性

方法：OECD 試験ガイドライン 474

種：マウス - オスおよびメス - 骨髄

結果：陰性

#### 発がん性

動物実験においては発ガン効果は発現しなかった。

#### 生殖毒性

既存データによると分類基準に適合せず。

#### 特定標的臓器毒性（単回ばく露）

臓器の障害。 - 眼, 中枢神経系

備考：(EU) 1272/2008規則, Annex VI (Table 3.1/3.2)に基づく分類

急性毒性（経口） - 吐き気, 嘔吐

急性毒性（吸入） - 気道の刺激症状

**特定標的臓器毒性（反復ばく露）**

データなし

**誤えん有害性**

データなし

---

**12. 環境影響情報**

**12.1 生態毒性**

**混合物**

データなし

**12.2 残留性・分解性**

データなし

**12.3 生体蓄積性**

データなし

**12.4 土壤中の移動性**

データなし

**12.5 PBT および vPvB の評価結果**

化学物質安全性評価が必要ではない/行っていないため、PBT/vPvB評価データはない。

**12.6 内分泌かく乱性**

データなし

**12.7 他の有害影響**

データなし

**成分**

**メタノール**

**魚毒性**

流水式試験 LC50 - *Lepomis macrochirus* (ブルーギル) - 15,400.0 mg/l - 96 h  
(US-EPA)

**ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性**

半静止試験 EC50 - *Daphnia magna* (オオミジンコ) - 18,260 mg/l - 96 h  
(OECD 試験ガイドライン 202)

**藻類に対する毒性**

止水式試験 ErC50 - *Pseudokirchneriella subcapitata* (緑藻) - 約 22,000.0 mg/l - 96 h  
(OECD 試験ガイドライン 201)

**微生物毒性**

止水式試験 IC50 - 活性汚泥 - > 1,000 mg/l - 3 h

---

## 13. 廃棄上の注意

### 13.1 廃棄物処理方法

#### 製品

内容物及び容器は、関連法規及び各自治体の条例等の規制に従い、産業廃棄物として適切に処理すること。

---

## 14. 輸送上の注意

### 14.1 国連番号

ADR/RID (陸上規制): 1230    IMDG (海上規制): 1230    IATA-DGR (航空規制): 1230

### 14.2 国連輸送名

ADR/RID (陸上規制): METHANOL,溶液  
IMDG (海上規制): METHANOL,SOLUTION  
IATA-DGR (航空規制): Methanol,SOLUTION

### 14.3 輸送危険有害性クラス

ADR/RID (陸上規制): 3    IMDG (海上規制): 3 (6.1)    IATA-DGR (航空規制): 3  
(6.1)    (6.1)

### 14.4 容器等級

ADR/RID (陸上規制): II    IMDG (海上規制): II    IATA-DGR (航空規制): II

### 14.5 環境危険有害性

ADR/RID: 非該当    IMDG 海洋汚染物質(該当・非該当): 非該当  
IATA-DGR (航空規制): 非該当

### 14.6 特別の安全対策

なし

### 14.7 混触危険物質

強酸化剤

---

## 15. 適用法令

### 15.1 物質または混合物に固有の安全、健康および環境に関する規則/法律

#### 国内適用法令

消防法: 第4類:引火性液体, 第一石油類, 危険等級II, 水溶性液体

毒物及び劇物取締法: 非該当

## 労働安全衛生法

特定化学物質障害予防 非該当

規則:

有機溶剤中毒予防規 第二種有機溶剤等

則:

名称等を表示すべき危 法第57条 (施行令第18条) - メタノール

険物及び有害物:

名称等を通知すべき危 法第57条の2 (施行令別表第9) - メタノール

険物及び有害物:

化学物質排出把握管理 非該当

促進法:

---

## 16. その他の情報

セクション 2 および 3 において言及された H-ステートメントの全文。

H225	引火性の高い液体及び蒸気。
H301	飲み込むと有毒。
H311	皮膚に接触すると有毒。
H331	吸入すると有毒。
H370	臓器の障害。
H371	臓器の障害のおそれ。

### 詳細情報

本SDSは自社SDSデータベース並びに各種の出版されている情報、文献などに基づいて作成されていますが、すべての情報を網羅しているわけではありません。従って、本情報は化学物質の安全性の指標としてのみご使用ください。また、本SDSの記載内容は情報提供を目的としており、当該化学物質の取り扱い上のいかなる保証をなすものではありません。

Copyright 2020 Sigma-Aldrich Co. LLC. により、社内限定使用以外の本書の複写を禁じています。弊社ブランド移行期のため、この文書のヘッダーやフッターのブランド名はご購入製品のブランド名と合わない場合があります。しかし、文書中の製品に関する情報は変わらず、ご注文の製品に合致します。詳細は、こちらまでお問合せください。mlsbranding@sial.com.